

盛岡市から排出されるペットボトルは 「品質全国トップクラス」！

きれいな分別へのご協力、ありがとうございます

高い品質を保つための「ひと手間」



キャップを取り、
ラベルをはがす



ボトル本体を
軽く水ですすぐ

みなさんが、資源の日に出しているPETボトルは、リサイクルの過程で、品質検査を経てから、リサイクルルートに乗せられます。この品質検査において、盛岡市リサイクルセンターは、令和4～7年度まで100点満点評価のAランクです。

この評価は、市民のみなさんが、分別のルールを守って排出していること、きれいなまち推進員をはじめとする地域の方々の分別ルールに関する啓発活動の成果です。本当にありがとうございます！引き続きご協力をお願いします。

ペットボトルリサイクルの流れ

分別収集（市町村）

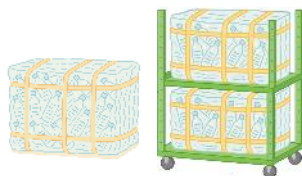
・収集



・選別



・圧縮（バール化）・保管



再商品化（事業者）

・選別、洗浄、粉碎



再商品化製品



フレーク

※ボトルを裁断したもの



ペレット

※フレークを加熱溶解して
粒状にしたもの

利用製品

【水平リサイクル】

回収したボトルを原料に戻し、再びペットボトルをつくる方法です。



【カスケードリサイクル】

再生フレークを原料にして、ペットボトルとは異なる用途の色々な製品をつくる方法です。



・食品トレイ



・卵パック



・ユニフォーム



・日用品パウチ

クマ・カラスなどの野生鳥獣の被害を防ぐために

ごみ集積場所でのカラスによる被害が増えています。また、各地でクマの出没も相次いでおります。クマやカラスなどの野生鳥獣を人の生活圏に誘引しないためにもごみの適正処理へのご協力をお願い致します。



- ・カラスの視力は人間の5倍。生ごみなどを視認して狙う。
- ・記憶力にも優れ、一度餌にありつくと何度も同じ場所を狙う



- ・クマの嗅覚は非常に鋭敏（犬の約6～10倍！）で、特に生ごみなどの強い臭いに強く引き寄せられる。
- ・主に夕方から早朝にかけて出没する。



野生鳥獣の被害を防ぐためのポイント

- ① ごみ袋の口をしっかりとしばり、生ごみなどが外から見えないようにする（厚手かつ半透明の袋に入れるのも有効）。
- ② 生ごみの袋はくちばしなどが届かないごみ集積場所の奥の方に入れて出す。
- ③ ごみは夜間に出したりせず、収集日の朝に出す（決められた時間・場所を守って出す）。
- ④ ごみ集積場所のネットなどはごみ出し後、開かないように確実に閉める。
- ⑤ 屋外にエサになるもの（野菜くず、ペットのエサ）は置かない。
家庭菜園の野菜、庭木の実（特に柿と栗）は早めに収穫する。

野生鳥獣による被害を防ぐために、もうひと手間のご協力をお願い致します。

シュレッダーごみの飛散防止にご協力をお願い致します！

シュレッダーの可燃ごみを
収集車で圧縮時、
爆発的に飛散しないように！



ちょっとした工夫で、飛散を防ぐことができます！

① 霧吹きで湿らせる

紙の粉じんが舞いにくくなり、
圧縮時の飛散防止に役立ちます。



水をかけすぎると、袋が破れたり、重くなるので、
表面が少し湿る程度にとどめましょう。

② ごみ袋の空気を追い出す

袋を縛る前に、押さえながら空気を抜きます。
空気が残っていると、圧縮時に破裂や
空気の噴き出しの原因になります。



空気を抜いたら、袋の口をしっかりと結びます。

③ 袋は7～8分目で口を結ぶ

袋を満杯にすると、圧縮時に破れやすく、
飛散の原因になります。



④ 可能であれば二重袋にする

二重袋にすることで、破れにくくなり、
飛散防止効果が高まります。



内側の袋の口も
しっかりと結びましょう。

⑤ 他の可燃ごみと混ぜて入れる

シュレッダー紙だけで袋いっぱいにするより、
他の可燃ごみと混ぜて入れると、袋の中で
紙が動きにくくなり、飛散を防げます。



さらに効果を高めるポイント！

- ✓ 軽く湿らせる（霧吹き）
- ✓ 空気を抜いてしっかりと結ぶ
- ✓ 7～8分目で結ぶ
- ✓ 二重袋にする
- ✓ 他のごみと混ぜる



蛍光灯の適正な処理へのご協力をお願い致します！

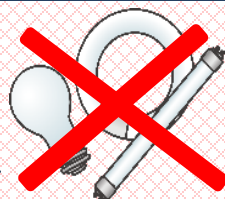
2027年には蛍光灯の製造・輸出入が禁止になります。

LED照明へ切り替える際には、改めて排出方法を確認して、適正に廃棄するようお願いします。

※事業者はごみ集積場所や回収ボックスには出せません。
産業廃棄物として適切に処分してください。

2027年

蛍光灯の製造・輸出入禁止



こみの出し方Q & A ～生ごみ・食ロス編～

Q. 生ごみはどのようにすてたらいいの？

A. 盛岡地域・玉山地域は可燃ごみの日に、都南地域は生ごみの日にそれぞれ集積場所にだしてください。

水をよく切ってから出すことで、ごみの重量を減らせるほか、臭いや虫の発生を抑えることができます。



Q. 食品ロスはどれくらい発生しているの？

A. 環境省が公表している推計値（令和6年度）によると、日本の令和6年度の食品ロスは約461万トン（家庭系約224万トン、事業系約237万トン）です。

1人1日あたり約102グラム（小さめのおにぎり1個分）の食品ロスが発生しています。

盛岡市では組成分析の結果、生ごみは可燃ごみの約4割、そのうち約1割が食品ロスとなっております。



Q. 生ごみや食品ロスを減らすためにどんな取り組みをしているの？

A. 生ごみ削減の取組として、小学校の環境学習授業において、ダンボールコンポストの作成について実技を交えた講座を実施しました。

また、食品ロス削減の取組として、事業者と連携しポスターの店頭掲示、もりおかエコライフイベントにおいてフードバンク岩手と連携し未利用食品の回収を実施しました。

フードバンク岩手では令和7年度皆様から寄付された食品等、約46トンが譲渡され、食品ロスの削減および地域福祉に貢献されています。



ごみ減量のご協力について



市民の皆様には、日頃から資源とごみの分別、ごみ集積場所の清掃等にご協力いただき感謝申し上げます。

盛岡市では、1人1日当たりの家庭ごみ（資源を除く）排出量を、令和8年度までに443グラムにする目標としておりましたが、令和7年度に442グラムと目標が達成されました。これもひとえに市民の皆様が減量のためにご尽力いただいたおかげでございます。しかし、私たちは目標達成だけに終わらず、引き続き資源とごみの減量のために努力いたします。今後ともご協力をよろしくお願いいたします。

盛岡市きれいなまち推進協議会会長
後藤 昌弘

令和8年度 表彰受賞者の紹介

きれいなまちづくりの推進に貢献された功績に敬意を表し、令和8年度きれいなまち推進協議会総会において表彰された方々を紹介します。

盛岡市長表彰

<団体表彰の部>

	団 体 名
1	見前町長寿会
2	石倉自治公民館

<個人表彰の部>

No.	氏 名	No.	氏 名
1	藤 澤 伸 雄	2	小野寺 寿 章
3	佐 藤 優 子	4	佐々木 光 夫

<きれいなまち推進員の部>

No.	氏 名	No.	氏 名	No.	氏 名
1	村 井 博 雄	2	松 尾 育 子	3	高 橋 恵 治
4	佐 藤 晴 彦	5	吉 田 二三男	6	大和田 幸 子
7	佐 藤 悦 子	8	藤 原 宏	9	井 上 節 子
10	滝 村 茂 子	11	住 吉 章 宏	12	及 川 正 次
13	高江柄 信 一	14	工 藤 恵 子	15	小 林 清 吉

きれいなまち推進協議会 会長表彰

<会員以外の部（個人表彰）>

No.	氏 名	No.	氏 名	No.	氏 名
1	藤 本 正 美	2	田 中 セツヨ	3	吉 田 照 子
4	野 崎 弘 子	5	木 村 明 美	6	齊 藤 秀 男

<会員の部>

No.	氏 名	No.	氏 名	No.	氏 名
1	佐 藤 明	2	山 屋 静 子	3	山 崎 恒 道
4	中 里 勤	5	阿 部 幸 信	6	佐 藤 十四男
7	山 口 吉 三	8	菊 池 繁 夫	9	寺 岡 敏 春
10	中 村 恵 政	11	工 藤 光 子	12	亀ヶ森 もみ子
13	佐々木 利 光	14	角 舘 ハルエ	15	伴 野 俊 秀
16	兼 平 裕 美	17	寺長根 勉	18	玉 山 健 一
19	岩 崎 茂				

きれいなまち推進協議会 特別表彰

No.	氏 名	No.	氏 名
1	亀 澤 征 利	2	渡 向 眞

盛岡市きれいなまち推進協議会役員名簿

会 長	後 藤 昌 弘 (西厨川)
副会長	石 川 正 信 (上 田)
	中 村 義 彦 (桜 城)
	工 藤 正 志 (松 園)
監 事	藤 岡 栄 (みたけ)
	大 坊 武 司 (杜 陵)

<事業部会>

部会長	高 橋 宏 明 (北厨川)
副部会長	太 田 明 (仙 北)
	工 藤 忍 (緑が丘)
	及 川 美由紀 (土 淵)
	古 関 信 男 (山 岸)
	千 葉 英 治 (杜 陵)
	高 橋 幹 夫 (つなぎ)
	村 上 頼 子 (中 野)

<広報部会>

部会長	小笠原 トモ子 (本 宮)
副部会長	吉 田 初 男 (太 田)
	藤 澤 孝 志 (見 前)
	千 葉 隆 (東厨川)
	田 子 博 通 (加賀野)
	福 田 孝 孝 (米 内)
	澤 口 悦 美 (築 川)
	北 田 清 己 (乙 部)
	福 田 カ ヨ (巻堀・姫神)

＜総務部会＞		
部会長	田澤	亨 (仙北)
副部会長	上和野	博 (仁王)
	澤口	信 (青山)
	田子	久博通 (加賀野)
	高上	橋偉夫 (みたけ)
	佐藤	章子 (城南)
	兼平	清志 (大慈寺)
	高瀬	美美 (飯岡)
	四戸	昇昇 (洪民)
		聡 (玉山・薮川)

みんなでつくろう
きれいなまち盛岡



前回会報(No.31)感想



・町内会で資源回収すると報奨金が交付されるとのこと。今までスーパーの回収箱に入れていたが町内会に出した方がいいのかと思っている。

会報(No.32)感想募集

「きれいなまち会報 No.32」を読んだの感想をお寄せください。

あて先

(郵送) 〒020-8531盛岡市若園町2-18
資源循環推進課内
きれいなまち(感想)担当あて
(メール) sigen@city.morioka.iwate.jp

ごみの分け方・出し方は「資源・ごみ分別アプリ」または市ホームページでもご確認いただけます。

ごみの分け方・出し方はこちら



収集日の確認はこちら



分別説明会・啓発教室にお伺いします！

ごみの分別やりサイクルについて、疑問はありませんか？パネルや紙芝居を使って楽しくわかりやすくご説明します。
お申し込み・お問い合わせは下記へ。
資源循環推進課 TEL:019-626-3733
E-mail:sigen@city.morioka.iwate.jp